

公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団

2016 年度（後期） 指定公募

「地域包括ケアを目的とした在宅医療推進のための多職種研修会への助成」

完了報告書

## 多職種連携研修会

申請者：添石 遼平

所属機関：一般社団法人 八王子薬剤師会

提出年月日：平成 29 年 8 月 7 日

【日時】平成 29 年 7 月 22 日（土）15 時 00 分～18 時 00 分（180 分）

【場所】八王子薬剤師会研修センター（八王子市旭町 12 番 1 号ファルマ 802 ビル 4 階）

【参加者】53 名

医師（5 名） 歯科医師（5 名） 訪問看護師（8 名） 介護支援専門員（3 名）  
地域包括支援センター職員（5 名） 薬剤師（27 名）

### 【目的】

現在、各地域で地域包括ケアシステムの構築が進められる中で、行政をはじめ、医療・介護関係者からは多職種連携が声高に叫ばれている。それに伴い、当会の所在地である八王子市では、市、医師会主導のもとで多職種連携研修会が実施されているが、1 回あたりの参加枠はごく少数であり、参加希望者の多くがいまだに研修会に参加できていない現状があった。

今回は、公益社団法人勇美財団の在宅医療助成（一般公募）を活用して研修会を行い、多職種ネットワーク（顔の見える関係）の構築を促進することを目的とした。

### 【方法】

① 多職種連携とグループワークに関する講義  
（東京都認知症 多職種協働研修テキスト 利用）

② グループワーク I  
ワールドカフェ

#### ●ワールドカフェとは

5～6名のグループで「おしゃべり（ラウンド）」を行い、テーマごとにメンバーを入れ替える。テーブル毎に「テーブルマスター」を決め、テーブルマスターは固定で司会をする。1回のラウンドは10～20分で行い、ラウンドが終わると、「テーブルマスター」以外のメンバーは別のテーブルに移動する。このとき、なるべく前のラウンドと違うメンバーが集まるように移動する。なるべく多くの人と「おしゃべり」をする機会を設けるグループワークの形式の一つ。

・3 ラウンド実施

・テーマ

- i) 仕事以外の趣味・活動で頑張っていることは何ですか？
- ii) 業務中で多職種連携のために取り組んでいることは何ですか？
- iii) 今後、多職種連携をさらに進めるために必要なことは何ですか？

③ グループワーク II

iii) で挙げられた課題をもとに解決策を検討  
（事前に事務局で設定したメンバーで 60 分程度実施）

④ 発表

すべてのグループで発表・質疑応答を実施

⑤ 総括

医療法人社団 光生会平川病院（南多摩医療圏認知症疾患医療センター）

理事長 平川 博之 先生

**【結果】**

ワールドカフェ形式を含め、各自が 4 つの異なるグループで意見交換を実施した。アイズブレイクとして設定したテーマも含め活発な意見が得られた。

下記には、最終的なグループワークで得られた、多職種連携に関する課題と解決策の抜粋を示す。

**課題**

- ① 多職種連携の中に地域住民が含まれていない
- ② 患者（利用者）の支援を考える際に、自分の職能に関係する部分しか把握しようとしていない
- ③ 情報の共有化が図られていない
- ④ 子育て世代は時間的、環境的に多職種連携研修会などに参加できない

**解決策**

- ① まずは問題意識を持っている人を見つけてサポートするところから始める
- ② 患者（利用者）宅に共通ツールとしてノートを設置して皆が同じ情報を共有できるようにする。
- ③ 行政主導で指定の連絡ノートを作成してもらう
- ④ 研修会の実施時間の変更や子連れで参加できる形式へ変更する

**グループワークの様子**



### 【考察・感想】

4 回のグループワークにより多くの人と自由な意見交換を実施することができたと思う。今まで参加してきた研修会のグループワークでは、事前に決められた一つのグループのみでの意見交換であったため、1 回の研修で 5-6 名程度のつながりとなっていたが、今回は各参加者が 20 名前後とつながる機会を持つことができた。また、事前に各職能団体と運営会議を開催して参加人数を調節したため、職種による参加人数の偏りをなくすことができ、多様な意見交換が実施できたと思う。

参加者からは、頻回な会の開催を求める声があった一方で、同じような研修会には毎回同じ顔ぶれが揃うことが問題ではないか、といった声もきかれた。今後は、多職種連携に消極的な方たちの意識をいかに底上げしていくかが重要となってくると感じた。

現在は、八王子市内の各地域包括支援センター（17 ヶ所）の協力を取り付け、各地域包括支援センター単位での研修会を企画中である。地域包括支援センターの管轄毎に多職種を集めることで、実際に連携を行う可能性が高い人同士を結びつけることが可能となるため、今後は、地域単位での小さな研修会を数多く実施していく方針である。

(公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団 助成事業)

## 研修会案内チラシ

平成 29 年 6 月 14 日

会員各位

一般社団法人 八王子薬剤師会

### 多職種連携研修会のお知らせ

平素は当会会務にご協力いただき誠にありがとうございます。

さて、この度、下記の通り多職種連携研修会を開催することといたしました。地域包括ケアシステムの構築を目指す中で、顔の見える連携を実施していくための一助としていただくと幸いです。

参加を希望される方は、下段の申込み欄に必要事項をご記入の上で、7月7日（金）までに、八王子薬剤師会管理センターまで FAX にてお申込みください。なお、会場の都合で参加人数を制限させていただく場合がありますのでご了承ください。

#### 記

日時：平成 29 年 7 月 22 日（土） 15 時 00 分 ～ 18 時 00 分

場所：八王子薬剤師会研修センター

八王子市旭町 12-1 ファルマ 802 4 階

内容：東京都認知症多職種協働研修テキストを利用したグループワーク

参加予定職種：医師・歯科医師・薬剤師・看護師・介護支援専門員

八王子市高齢者あんしん相談センター職員等

以上

(助成：公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団)

## プログラム

平成 29 年 7 月 22 日

### 多職種連携研修会 プログラム

日時：平成 29 年 7 月 22 日（土）15 時 00 分～18 時 00 分（180 分）

場所：八王子薬剤師会研修センター

1. 開会挨拶（5 分）

八王子薬剤師会 会長 橘 隆二

2. 研修会の目的および作業内容の説明（15 分）

八王子薬剤師会 理事 添石 遼平

3. グループワーク（5 ～ 6 名 × 9 グループ）

① ワールドカフェ形式

・ 3 ラウンド実施

・ テーマ

I 仕事以外の趣味・活動で頑張っていることは何ですか？（15 分）

II 業務中で多職種連携のために取り組んでいることは何ですか？（20 分）

III 今後、多職種連携をさらに進めるために必要なことは何ですか？（20 分）

② III で挙げられた課題をもとに、解決策を検討（40 分）

③ 発表（40 分）

4. まとめ（20 分）

平川 博之 先生

5. 閉会挨拶（5 分）

八王子市医師会 会長 佐々木 容三

以上

公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団の助成による研修会